人間社会拡張共創ハブ

Co-creation Hub on Human and Societal Augmentation（COHSA）

COHSAは産総研コンソーシアムとして設立予定です。

人と社会を共に高める交差(COHSA)と共創

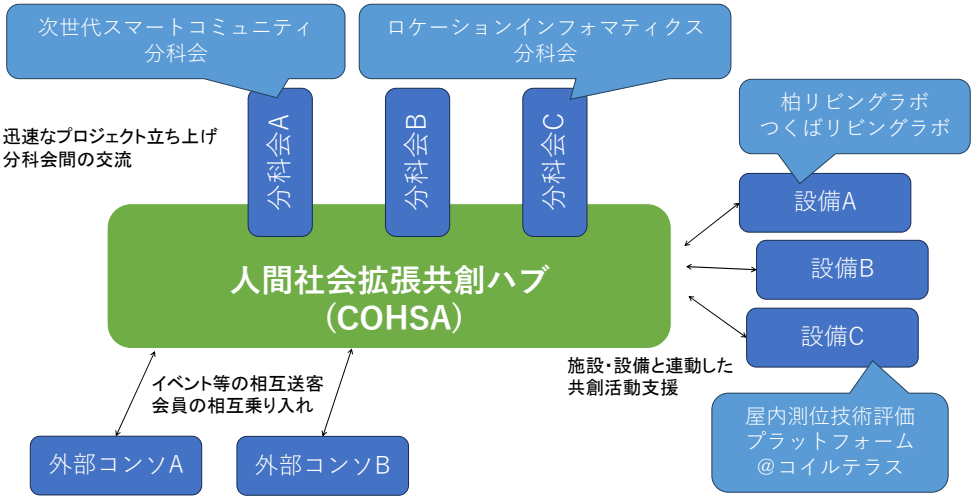
■ これまでの人間拡張研究では、身体機能や認知機能の支援・強化を通じて個人の能力を高め、その積み重ねによって社会課題の解決を目指してきました。しかし、複雑化する社会課題に対応するためには、個人の能力拡張だけでなく、人と人、人と組織、組織と社会の関係性に着目し、集団や社会システムの機能そのものを拡張するアプローチも重要です。

■ 人間社会拡張(Human and Societal Augmentation)は、個人の能力や可能性を広げる「人間拡張」と、集団・組織・社会の機能を高める「社会拡張」を組み合わせ、社会課題の解決と新たな価値の創出を目指す取り組みです。個人のエンパワーメントと社会全体の包摂性の両立、多様性と共生、効率性と利他性などを重視し、技術開発だけでなく、サービスや社会システムのあり方までを視野に入れます。



人間社会拡張トライアル

■ 人間社会拡張共創ハブ(コーサ)は、企業、大学、研究機関、自治体、地域団体などが知見と経験を持ち寄り、未来の社会像の構想から技術開発、評価、実証、標準化、事業化までをつなぐ共創の場です。産総研柏センターと柏の葉地域を拠点に、多様な分野・組織・コミュニティをつなぎ、新たな社会イノベーションを推進します。



分科会と外部コンソとの交差点としての人間社会拡張共創ハブ





分科会活動

■ 会員の関心や課題に応じて、具体的な社会課題と技術領域を結びつけるテーマ別分科会を設置し、共同検討を進めます。

■ **ロケーションインフォマティクス分科会**：歩行者自律航法(PDR)などの屋内測位技術動向やその応用事例(製造、物流、医療・介護、店舗など)の共有、測位技術や位置関連情報に関する品質・信頼性の表現と評価方法論の検討、及びロケーションインフォマティクス全般に関する今後の展望に関して議論

■ **次世代スマートコミュニティ分科会(仮)**：在宅環境や地域において、人中心の観点から、データに基づき安全安心な生活を支える生活支援基盤技術やコミュニティに関する、近未来ビジョンや技術動向、研究開発支援のあり方について検討

人間社会拡張共創ハブ事務局
連絡先：M-cohsa-office-ml@aist.go.jp

入会案内をご希望の方はこちらまで

25TH ANNIVERSARY

産総研 ともに挑む。つぎを創る。